



今月の表紙はわした保育園の花もち会での「コマ」です。花もちを教えてくれたおじいちゃんおばあちゃんへのお礼にと、園児たちが保育園で覚えた自分の特技を発表しました。真剣な表情であやとりにも挑戦し、完成したあとの少し誇らしげで、少しホッとしたような温かな表情がステキでした。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

こうたの民話

「たけそみのみこと」 須美

「やまとたけるのみこと」は、お父さんのけいこう天皇の命令によって、東の国の従わない者たちをやっつけるために、やまとの国(奈良県)から旅立たれました。このとき、きびの国(岡山県)の大臣と、熱田神宮の「たけいなだねのみこと」と、息子の「たけそみのみこと」が、つき従われました。

やまとたけるのみことの一行は、やがてみかわの国(愛知県東部)にお着きになりました。みかわの国では深溝のうにやたける、石巻のかむえたける、渥美のやくまたけるなどが、やまとたけるのみことに齒向かいました。やまとたけるのみことは、こうした従わない者たちを攻め滅ぼし、額田や幡豆、設楽、宝飯や渥美をたちまち平定されました。

その後、やまとたけるのみことの一行はさらに東に向かわれました。するがの国(静岡県)の焼津では、土地の豪族の計略にかかって危うく焼き殺されそうになった

こともありました。

やがてやまとたけるのみことは、さがみの国(神奈川県)、かずさの国(千葉県)、かひの国(山梨県)までも従えられ、やっと帰国の道につかれることになりました。

やまとへお帰りの時、やまとたけるのみことは「たけそみのみことよ、なんじは残って幡豆の土地を治めよ。」とお命じになりました。たけそみのみことは「承知しました。私はこの地にとどまり、よいまつりごとを行います。」とお答えになりました。そして慈しみの心で一先懸命幡豆の地を治めました。そして何年後かの後、病のため、ここ幡豆の地で亡くなられました。

たけそみのみことを慕う人々は、須美の山にお墓を造り、みことを厚くほうむりました。そしてそこに一つのお宮さんを建てました。これが今の須美の天神さんです。(こうたの民話要約)

みんなの作品展!



「アロハの私」
【鉛筆画】

いしばし ゆうこ
石橋 結奴 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

「あこ丸」

田川町の方言

「なんだー?」

3月。ひと足早い春を探しに駅へ急ぐお父さん、それを呼び止めるお母さん…

「あなた、カメラ忘れちゃーらんじゃん。新聞のあいさに隠れとったに」

「あなた、カメラを忘れてはだめよ。新聞の間に隠れていたわ」という意味です。

この「あいさ」「あいだ(間)」の「だ」を取り替えただけが、「あいだ」とは、二つのものの中間を表す「合」に接尾語「だ」が付いたもので、それが変化したのが、「あいさ」だそうです。本当にそうなのでしょうか。

「あいま」も「合い間」ですし、よくよく辞書を引くと、「あいだ」の「だ」は、場所を表す「ど(処)」が変化したものとありました。ですから、「あいさ」の「さ」も、「さま(狭間)」や「さ(狭所)」のように狭いこと、狭い場所を表す「さ」だと私は考えます。

駅といえば、3月17日に誕生する新駅「相見駅」も、幸田駅と岡崎駅のあいさでしたね。

(文) 川口 文子



青春トークリレー
第228走者

ながた ともひろ
長田 智博 さん

岩堀区在住 24歳
身長 184cm A型
好きなタイプ 明るい人、
プラス思考な人
好きな芸能人 宮崎あおい

月に1回ほど、同い年が中心のメンバーでソフトボールをやっています。ソフトボールがきっかけで知り合った人もたくさんいます。ソフトボールが得意という訳ではないのですが、とにかく体を動かして汗をかくのが大好きです。なかなか体を動かす機会が無いので、とても貴重な時間です。みんなで大声を出して笑ったり、ハイタッチしたり、いつも付き合ってくれる仲間に本当に「感謝」です。

あまり現在の常識にとらわれず、幅広く物事を考え、少しでも社会に貢献できるようにこれからもがんばります。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくぐらふり
「某月某日」
〜わした保育園〜

一緒にあ・そ・ぼ・ろ

わした保育園の年長青バッチは、1年間を通じて地域の老人の皆さんとふれあい交流をしています。園児の祖父母や老人クラブの皆さんと楽しむ「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会」、春と秋のケアホーム穂の香・あや音の訪問、老人クラブのおじいちゃんと一緒に餅をつき、おばあちゃんとおんこ餅を作る「お餅つき会」、生き生きサロンの皆さんと作る「花も

ち会」と続きます。今年度は、それに加えて、「げんきかい」との交流があり、1回目は保育園にお招きしました。じゃんけん列車では、老いも幼きも真剣勝負で大いに盛り上がりました。その後、げんきかいの皆さんが、子どもたちとの遊びには何がいいかと考えてくださった遊びをしました。その中の手合わせ歌「八十八夜」は、子どもたちの印象に残り、後日、園でも毎日のように遊んでいたほどです。



そこで、2回目の交流におじゃました時には、みんなが「八十八夜」をし、園で人気の「はないちもんめ」を楽しみました。子どもたちにとっても楽しそうであつたので、少々おじいちゃんたちを振り回してしまつたかなと思いましたが、本当に楽しい時間でした。おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいを通して優しくなつた子どもたち、もうすぐ元氣な1年生です。



編集者の
ちよと
わんぱくぐらふり

▼先日、ラジオを聴いて「およい曲」と思い、曲名が気になつたので最後まで聞き、最後にDJが曲名を言ったのですが、英語の発音がネイティブすぎて全く聞き取れなかつた編集者の(T)です。こんな悲しいことがあつたとしても、雨ニモ負ケズ、ラジオDJノ発音ニモ負ケズ、毎日町内を取材で駆け回っています。取材に向かうとき、自分なりに心掛けること、それは「常に平常心でいること」。取材先の雰囲気や盛り上がりや、厳粛だったり、どんな空気だつたとしても、すぐに対応できるようにするためでも、やっぱり仕事や生活している中でうまくいかないことや、イライラすることもあります。それを次の日まで持ち越さないことが大切なのかなと思います。そんな中、最近見つけたものを、「3行ラブレター」目ごろの想いを3行に詰めたラブレターです。これを読んでみると心がとても癒やされます。ハワイの海とかローマの遺跡とか、そんなの誰と行つたつて楽しいでしょう。駅前のお店街で幸せが沸いてくるのはきつとあなたとだけね」とか「つらかつた」と言う前に、「つらかつたのだらう」と言つてくれる。あなたと暮らして50年」とかなんだかほっこりするラブレターたち。「平常心を保つ」と言いながら、これらを読んでも、3月16日の相見駅開業式典へのワクワクが止まらない僕です☆(T)